

山口県がん化学療法チーム研修会開催報告

山口大学医学部附属病院
腫瘍センター事務局

令和6年1月13日（土）に、山口大学医学部附属病院腫瘍センター主催で、山口県がん化学療法チーム研修会『高齢者のがん治療について』をWEBで開催しました。本研修は、山口県のがん化学療法の医療レベルの更なる向上を図るために、山口県内のがん診療連携拠点病院を含めた化学療法を行っている医療機関の多職種（医師・薬剤師・看護師・管理栄養士・MSW等）によるチーム研修となっており、5施設27名の参加がありました。

当院の永野浩昭腫瘍センター長の開会挨拶に始まり、次いで山口県健康福祉部からの挨拶の後、医師とMSWの立場からの講義が行われました。

《講義内容》

「高齢がん患者における機能評価」

山口大学医学部附属病院 第二外科 助教 徳光 幸生

「高齢者のがん患者の支援」

山口大学医学部附属病院 患者支援センター MSW 高砂 真明

各参加施設紹介の後、グループワークの症例提示が、本院の井岡医師からあり、指定された症例について各施設で検討を行いました。多職種で問題点を抽出し、解決策を考え、最後に発表していただきました。研修会全体を通じて様々な意見や質問が活発に出され、参加者の真剣さや意欲の高さを感じることができました。

参加者からは、「抗がん剤治療にあたっての多職種の考え方などを知る良い機会となった。」、「高齢患者が受けられるサービスについて、普段あまり携わることがないので知れてよかった。」、「他病院の現状が知れて有意義だった。また高齢者の評価法についても検討していきたい。」など多くの意見が寄せられました。

昨年に引き続きWEB開催による研修会で、参加者の皆さまのご協力もあり、大きなトラブルもなく有意義な研修会となり、無事終了することが出来ました。

腫瘍センターでは、これからも医療従事者に向けた様々な研修会を計画していきたいと思っておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

